

株式会社の設立手続きについてのアンケート

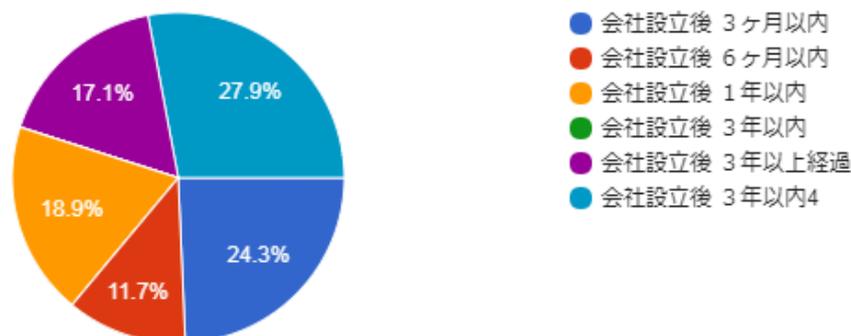
回収期間：2017年10月4日～10日

回収数：111件

対象：創業手帳読者／全て実名による回答

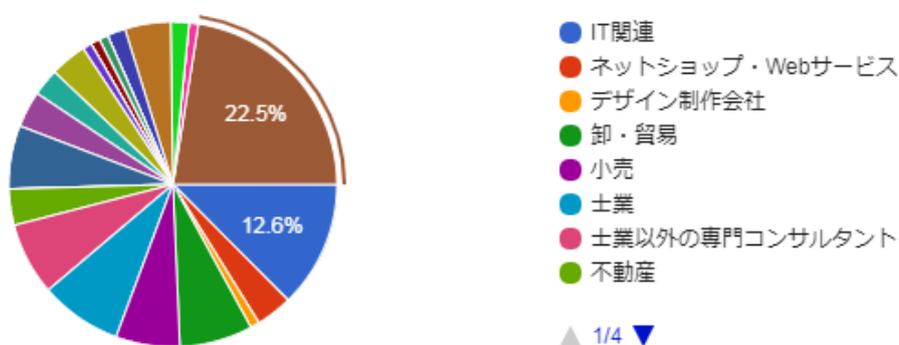
会社設立日

111件の回答



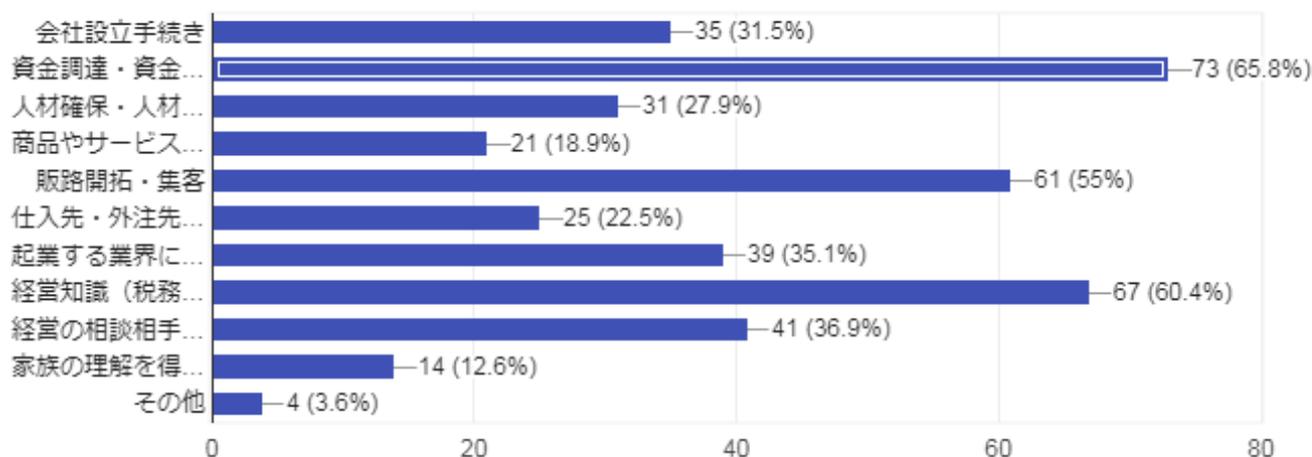
業種

111件の回答



創業時に困ったことは何ですか？(複数回答可)

111件の回答



創業時に困ったことで「その他」を選択した方は内容をご記入ください

- 創業サポート組織が頼りにならない・会社設立以前のすべきことが教えてもらえない
- ワンストップで相談出来る所が無い。
- 法務局に登記申請後、登記事項証明書取得まで時間がかかりすぎる。申請後5日以内に社会保険の手続きが必要と定められているのに、当社の場合19日間かかった。その結果、健康保険に無加入期間が生じる。

創業時に公的機関、政府にしてほしい支援をご記入ください

《資金支援についてのコメント (28/73)》

- 助成金 (2)
- 融資斡旋 (2)
- 資金提供 返済不要
- 助成金・補助金の増加
- 低金利や無担保融資、補助金
- それぞれの事情に有った資金提供
- 融資や助成金等資金的な支援
- 補助金の支援を強化してほしい
- 育児女性への助成・資金調達
- 補助金を出してほしい。
- 資金支援
- 起業内容にあった創業費用貸付
- 創業資金の充実
- 低金利での融資又は、補助金
- 創業時 資金援助
- 創業支援補助金の拡充
- 資金調達
- 融資
- 資金の支援
- 税金負担の軽減など
- 所得税などの税率軽減
- ワンストップで相談が出来る部署が欲しい。所得証明や確定申告など面倒な手続き無く、最初の立ち上げ当初だけで良いので、利息も無しで資金提供して欲しい。
- 税務署
- 起業に関連する法律、条例の監督官庁との連携を円滑化する窓口。融資制度の充実。
- 過去の倒産履歴があっても再起できるチャンス（公的融資を受けられる）を与えていただきたい。
- 創業時の収入がほとんどない場合における失業手当の給付

《情報支援についてのコメント (21/73)》

- よろず相談窓口のような無料相談 (2)
- 税務・法務・労務は本当によくわからないので、これさえ読めば的なガイドブックが欲しい
- 創業を経験・新鮮な人から、参考になることを教えてもらえる様にして欲しい
- ビジネス用語に詳しくなってほしい。批判するのではなく、新しいサービスを理解しようと努めてほしい。
- 開業指南
- 業態にあった個別相談など
- 会計の相談など
- キャピタリングコンサル
- 選択肢の明示

- 相談窓口の設置、特に都道府県別に、必要
- 起業時に活用できる国の経産省・厚労省に関する政策情報
- 私は比較的恵まれていたと思いますが、創業時は極力火事場泥棒人種をどける工夫と配慮が常に必要でしょう。それと、創業時よりも創業前の準備段階の見極め（副業容認などの働き方改革施策も含む）と支援がより重要と考えます。今思えば、勤務時代にもっともっと準備しておけたことが山ほどあり、こんな苦労は次の世代にさせてはいけない苦労だと思います。してよい苦労としなくてよい苦労があります。創業前の勤務先に組織的な問題山積みであれば、準備不足というしなくて良い苦労をすることになります。
- 創業時から一定期間、会社運営を支援する専門家の無料派遣制度。
- 助成金、補助金を解りやすくして欲しい。
- 法務局の手続きが初めての自分には、最初に何をすればよいのか。法務局の担当者は専門用語を多用し、ちんぷんかんぷん。利用者感覚が足りない役所と感じた。
- ハローワーク等の人材募集サービスから求人企業のHPリンクをして欲しい
- 気軽に経営相談に応じてくれる相談窓口の設置
- 資金面や起業相談を気軽に受けられるところ
- ハローワーク以外での人材紹介
- 設立手続きの簡略化、調達資金の潤沢化、経営知識（税務・法務・労務）の海外対応無料サービス、経営の相談相手の公に於いてのネットワーク形成とその紹介サービス、原産地証明発行する商工会議所も含めたりデザイン

《手続きの簡素化についてのコメント (19/73)》

- 設立手続きの簡素化、資本増資の際の手続き簡素化、ビジネスマッチング
- 設立手続き簡素化
- ネットでの設立手続き、納税も簡単に。少なくとも諸外国レベルで。
- 手続きの簡素化集約化。縦割り事務をやめてほしい。起業5年ほどは法人従業員とともに課税/社会保険料負担の免除/減免。業界での現業実務経験のない許認可業務担当者を許認可業務から外してほしい。
- 健康保険、年金、住民税などの手続きに関する簡易化
- 登記費用等の減免、相談窓口、手続き窓口の一本化
- 設立手続きの簡略化、調達資金の潤沢化、経営知識（税務・法務・労務）の海外対応無料サービス、経営の相談相手の公に於いてのネットワーク形成とその紹介サービス、原産地証明発行する商工会議所も含めたりデザイン
- 登記手続きに時間がかかるのであれば、先日付申請を認めるべき。
- 手続きをもっと簡単にしてほしい。
- 各種情報をワンストップで提供してほしい
- 創業支援事業の対象やルール明確化
- 全ての手続きが、ネットにて完結すること。役所には一切出向く必要が無いようにしてほしい。時間、交通費の無駄。
- 登記関係の簡素化
- ネットによる一括受付にしてほしい・登録免許税の軽減
- 提出書類の電子フォーム化。ほんの一部電子フォーム化されていたものがあったが、ほとんどがエクセル作りっぱなしかPDF。できればみんな記入可能なPDFにして欲しい。
- 特定の支援は不要だが、無駄に手続きが煩雑
- 設立の際の届出書類が多数あるので、行政で連携しデータ共有して書類を減らして欲しい
- 登記申請後、税務署面の申請は自治体等三箇所にも同内容を提出しているが無駄なので一箇所に郵送すれば全て終わるようにしてほしい。

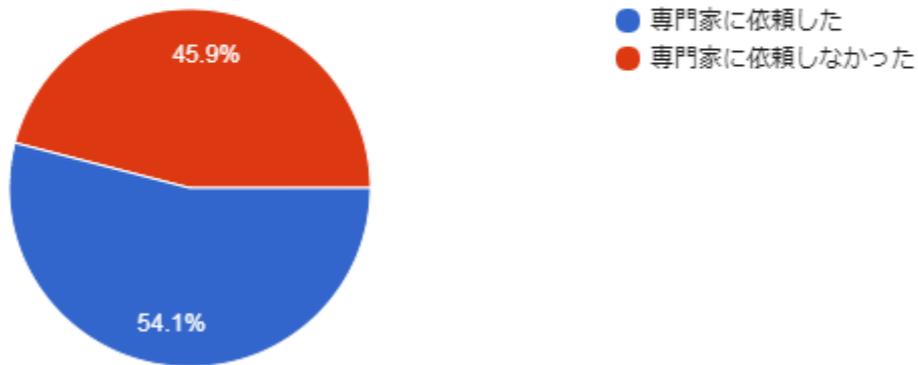
《その他 (5/73)》

- 規制緩和
- コンサルティングを3年受けているが、なかなか痒いところに手が届かないことが多いが最近、期待より良い方向に軌道修正してもらっていることに気がつき随分良かったです。
- 印紙法の緩和
- 賃貸物件の斡旋

●ジェトロの創業ワンストップセンターでの手続きで時間が大いに短縮できた。

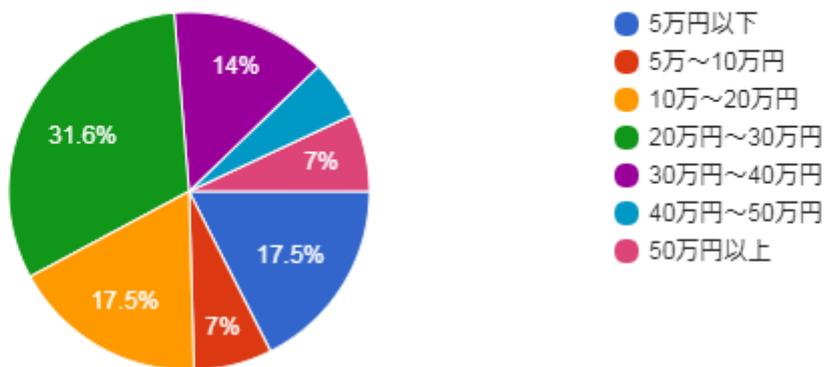
株式会社の設立手続きは専門家に依頼しましたか

111 件の回答



前問で「専門家に依頼した」と答えた...金額の総額はいくら発生しましたか

57 件の回答

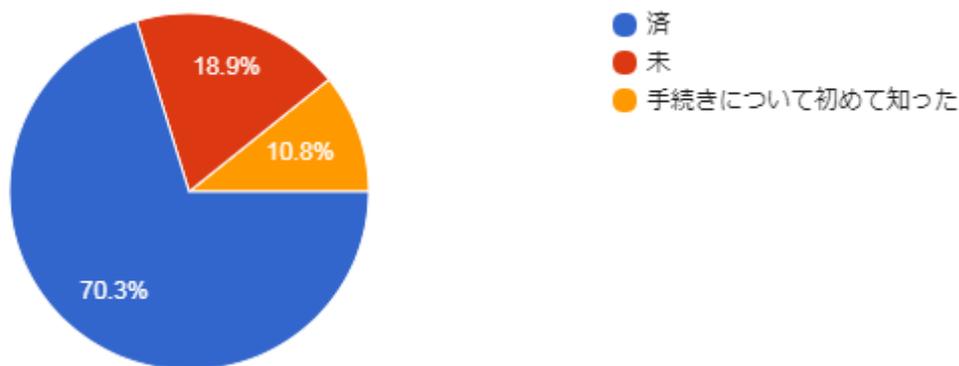


株式会社の設立手続き概要



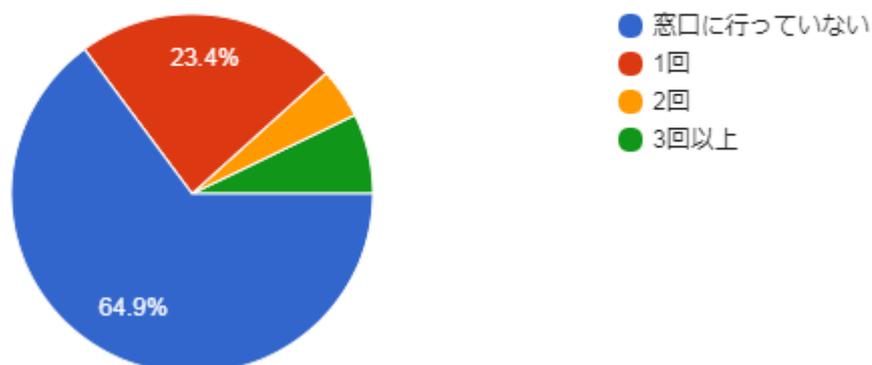
①定款認証について

111 件の回答



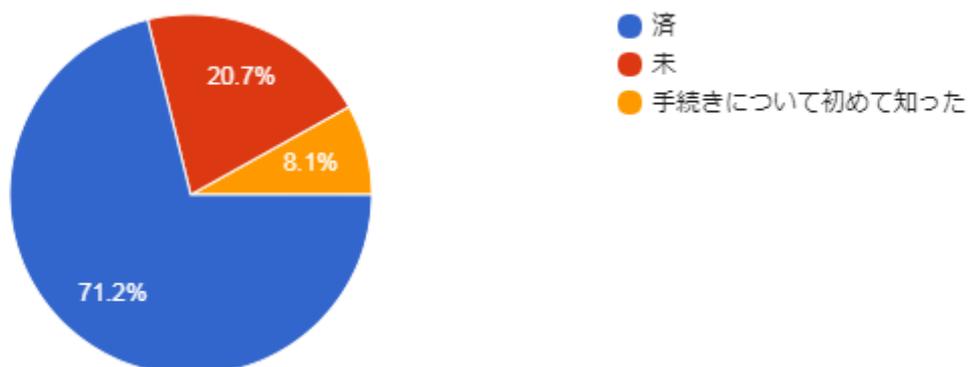
①定款認証の為に窓口に行った回数

111 件の回答



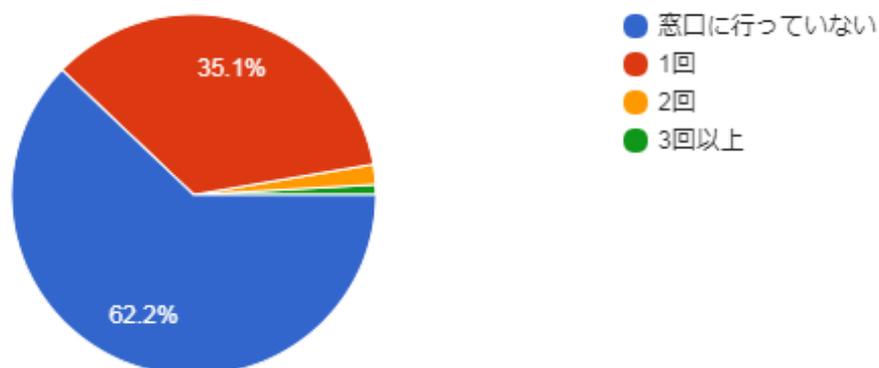
②会社代表者印 提出について

111 件の回答



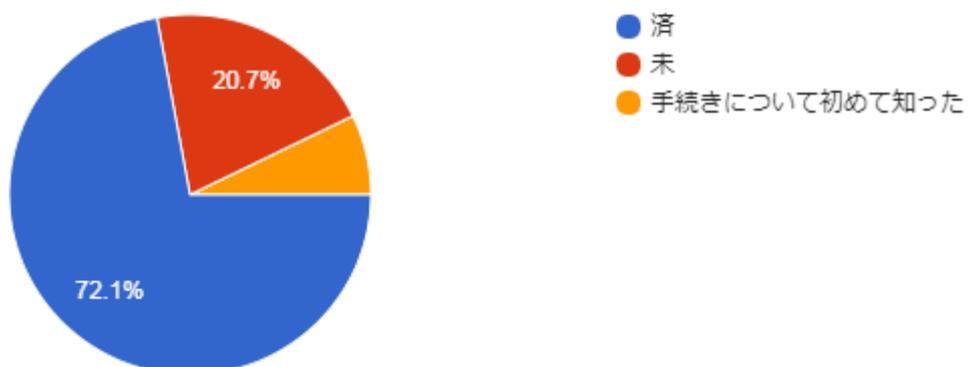
②会社代表者印提出の為に窓口に行った回数

111 件の回答



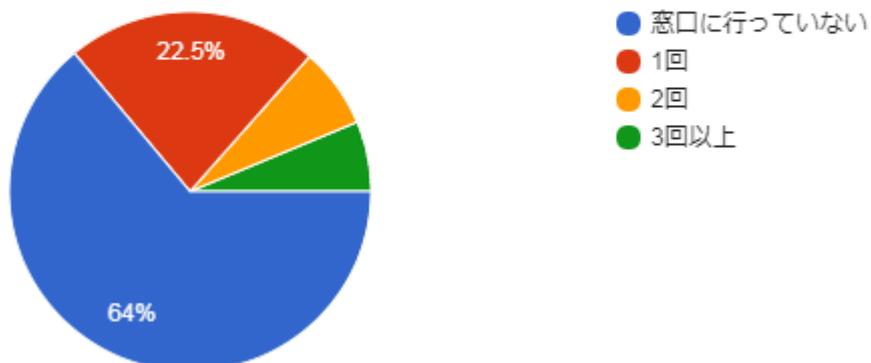
③設立登記申請について

111 件の回答



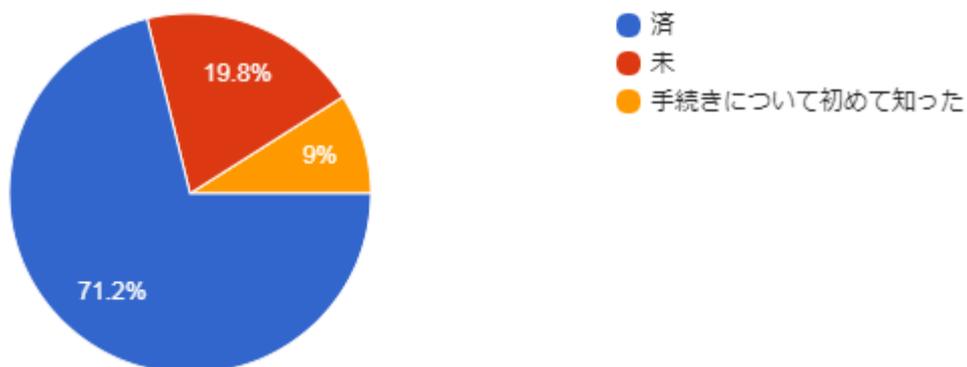
③設立登記申請の為に窓口に行った回数

111件の回答



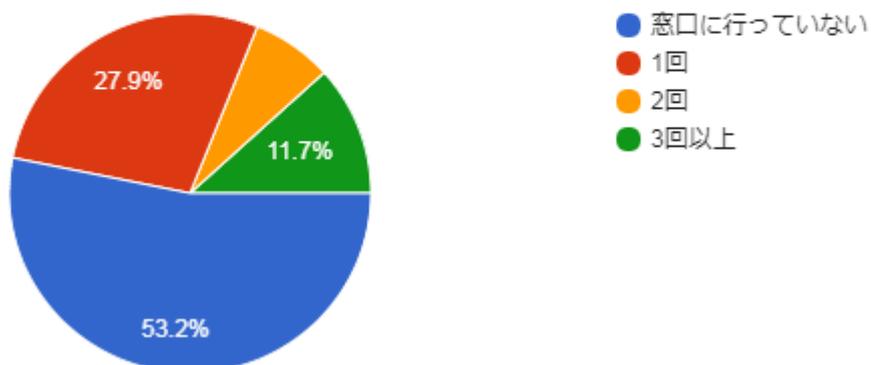
④登記事項証明書取得について

111件の回答



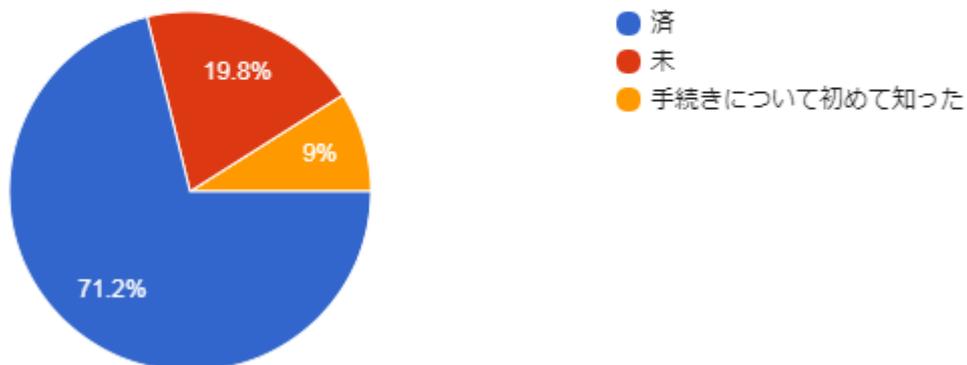
④登記事項証明書取得の為に窓口に行った回数

111件の回答



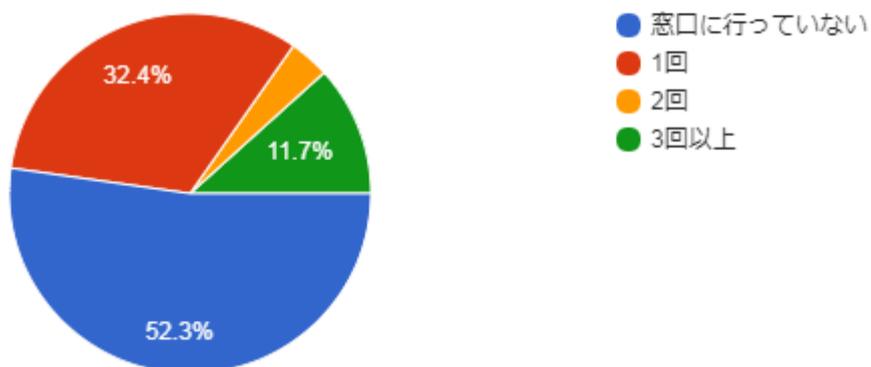
⑤会社代表印鑑証明書取得について

111 件の回答



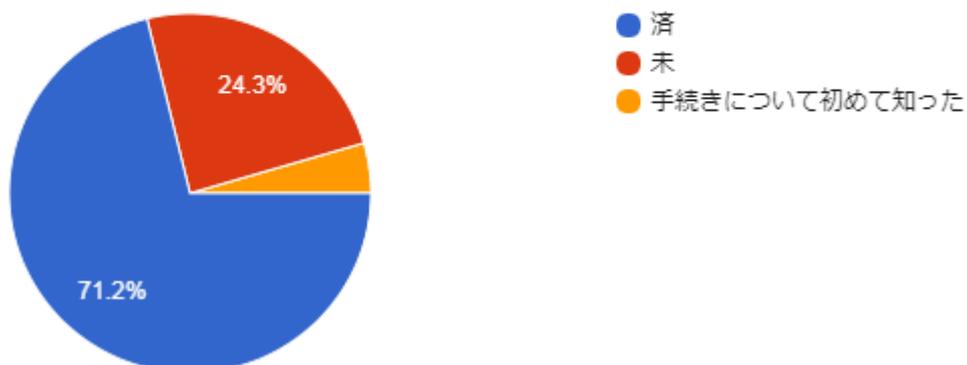
⑤会社代表印鑑証明書取得の為に窓口に行った回数

111 件の回答



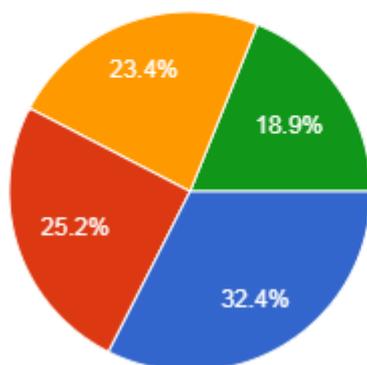
⑥法人銀行口座開設について

111 件の回答



⑥法人銀行口座開設の為に窓口に行った回数

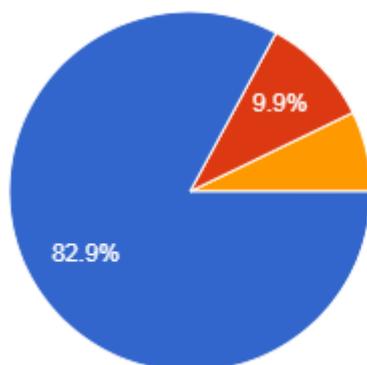
111件の回答



- 窓口に行っていない
- 1回
- 2回
- 3回以上

⑦税務署設立届出について

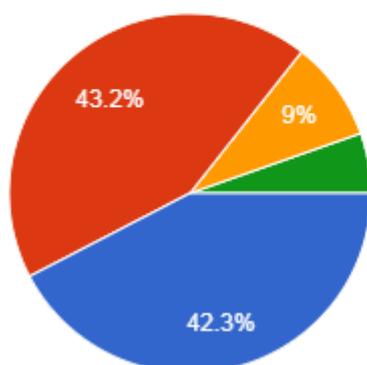
111件の回答



- 済
- 未
- 手続きについて初めて知った

⑧税務署設立届出の為に窓口に行った回数

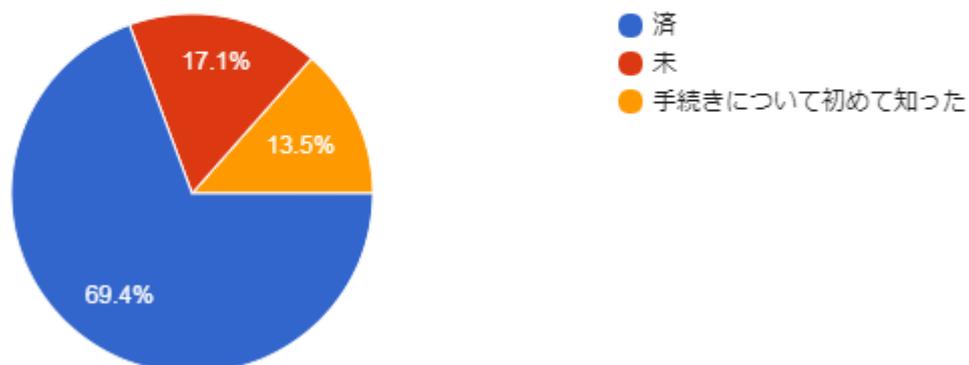
111件の回答



- 窓口に行っていない
- 1回
- 2回
- 3回以上

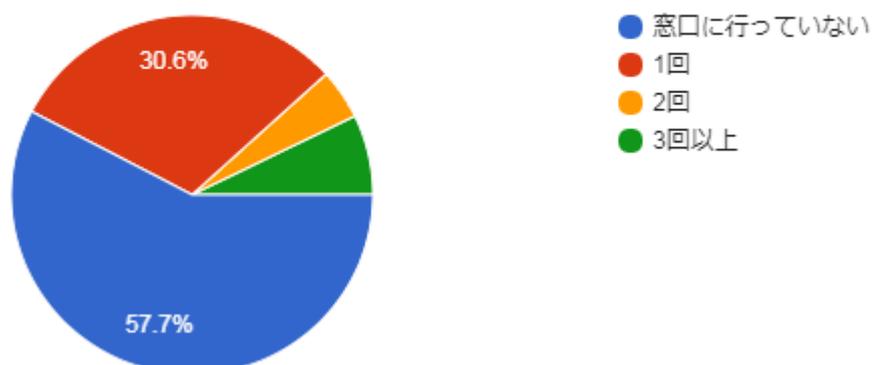
⑧都道府県・市町村税事務所設立届出について

111件の回答



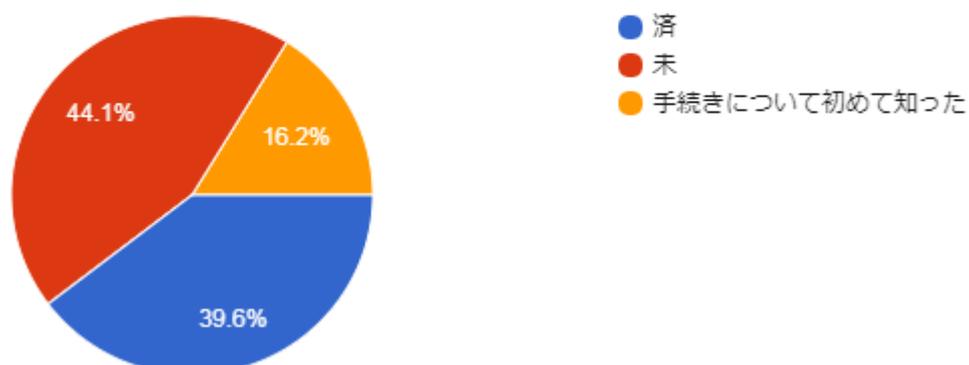
⑧都道府県・市町村税事務所設立届出の為に窓口に行った回数

111件の回答



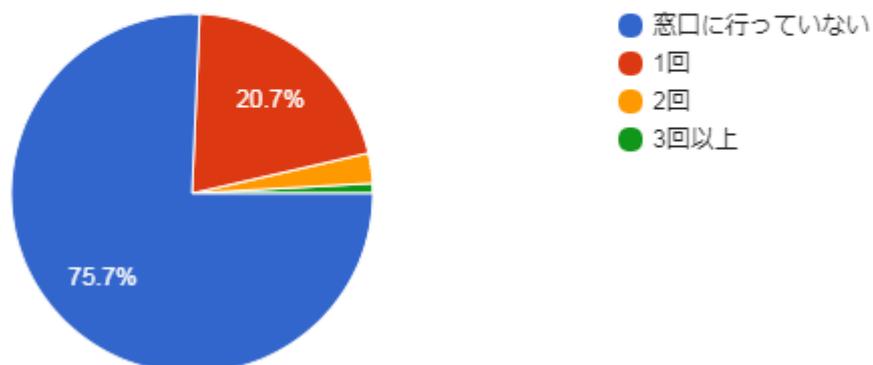
⑨労働基準監督署設立届出について

111件の回答



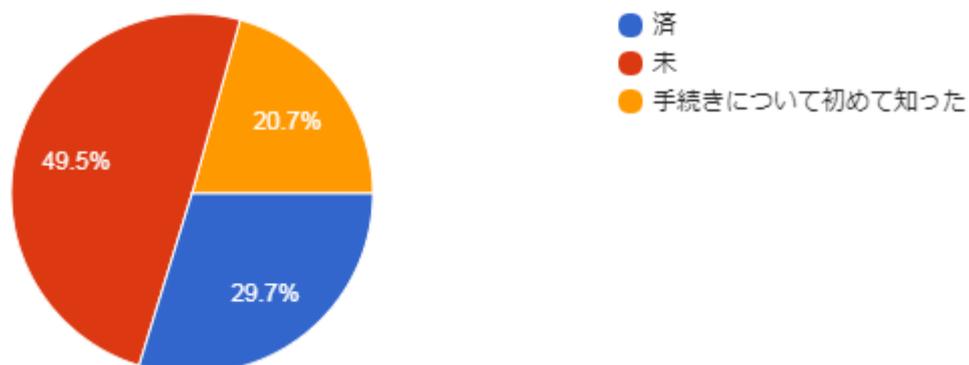
⑨労働基準監督署設立届出の為に窓口に行った回数

111件の回答



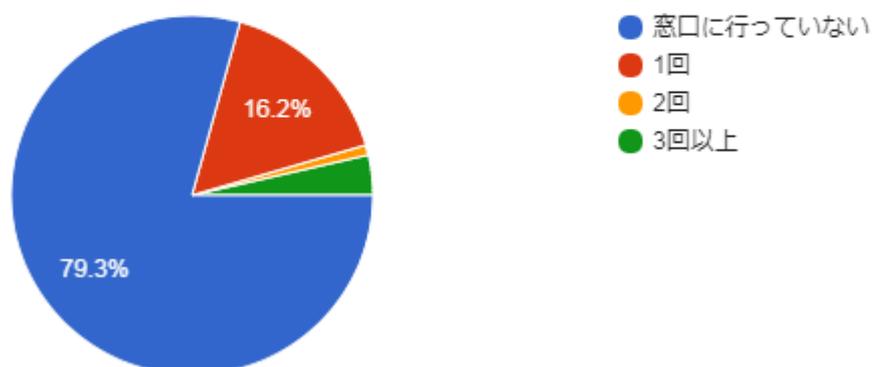
⑩公共職業安定所設立届出について

111件の回答



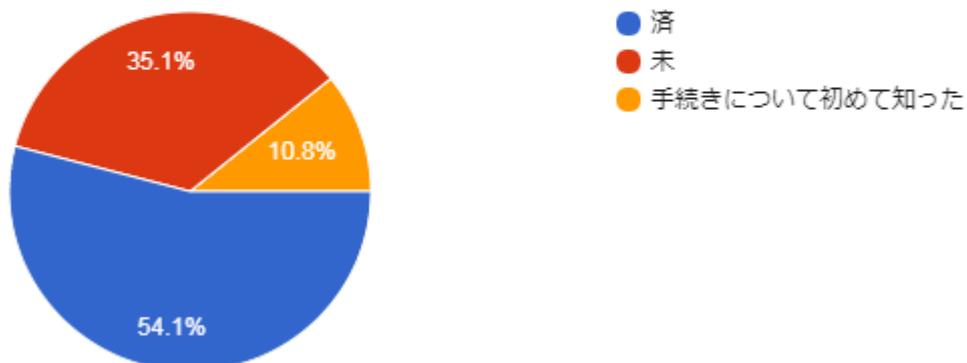
⑩公共職業安定所設立届出の為に窓口に行った回数

111件の回答



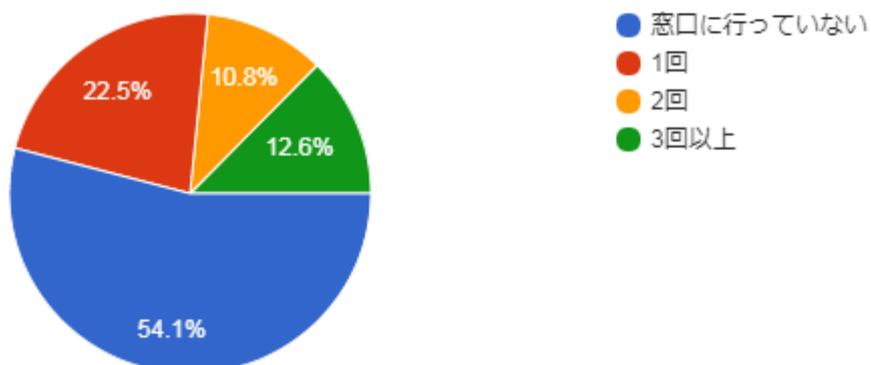
⑪年金事務所について

111 件の回答



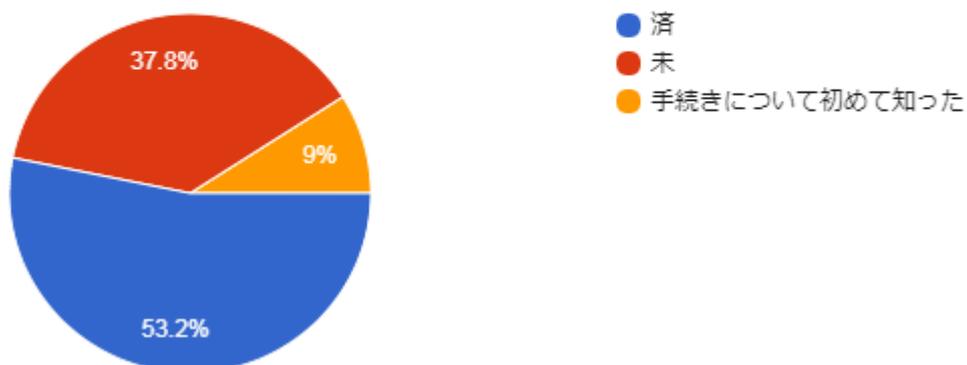
⑪年金事務所の窓口に行った回数

111 件の回答



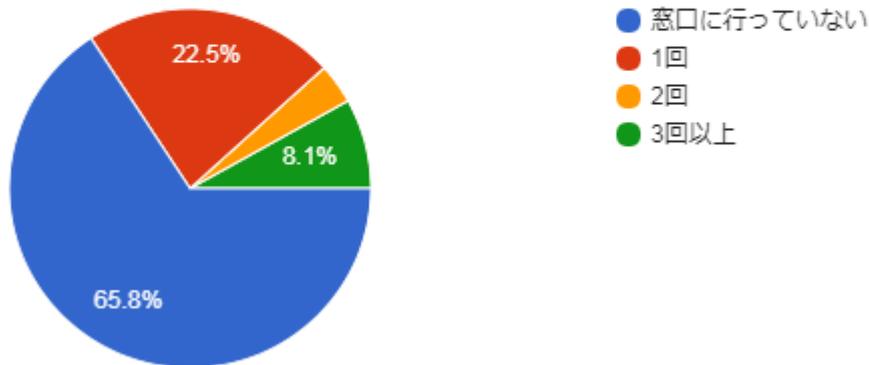
⑫健康保険組合について

111 件の回答



⑫健康保険組合の窓口に行った回数

111件の回答



株式会社の設立手続きにおいて、手続きの時に思ったこと。改善して欲しい点等をご記入ください

- 開業に向けての物件探しに時間と労力がかかる。
- 保険関係が難しい (2)
- 申請が多岐でわかりにくい。 (2)
- 窓口がわかりにくい
- 定款の内容が分かり辛い
- まず、何をしなきゃいけないのかわからない。何がわからないのかわからない。
- どこから手をつけるのかが、明確な順序がないのが、わかりにくかった。
- 設立手続きを行政は一本化してほしい。
- 本店移転の際の税務署は新旧2箇所に行かせるのは止めてもらいたい
- 同じような内容の書類を数枚、数か所に提出が必要な点を改善してほしい。マイナンバーを使って1回の入力で済むようにできるような気がします。
- 会社設立に関しては、士業の方に委託しましたので特に問題無し。
- 民間の不動産業者もいいですが、空き家・空き店舗対策もふまえ行政の情報発信と規制緩和を検討して下さい。
- ネットで全て完結出来るWebサイトが必要不可欠 1円起業などでもっとフラットに起業出来る仕組みが必要
- 単純にめんどくさい。もっと書類を簡潔にしてほしい。
- コンパクトな手引きが欲しかった
- 設立したのは一般社団法人。いまや一般社団法人を設立する人は多いと思う。だから、その点についての説明などが、欲しい。
- 税理士さんをお願いして殆ど代行して頂き、郵送にて提出しました。
- 自分で行うとなると非常に厳しい、行政機関の何処かで全体を把握して頂き、支援して頂きたい。この他の手続きも省庁が変わると猛烈に他人事になって、まともに説明して頂けない事が多すぎる。関連手続きがワンストップで出来る仕組みが欲しい。
- コンサルティングや、改善がありがたかったです。
- 無し
- 煩雑・同種の内容をそれぞれに提出する必要がある一本化出来ないものか。
- 手続きのたびに、こちらは未経験なのに、知っているという前提で話をされる。

- 銀行口座開設のむずかしさ。各官庁届出の漏れがないよう確認すること、司法書士の先生がどの分野に得意か。事前にしりたい。設立はしてもらったものの、それだけで終わり税務署や市区町村の届出をしなかったのが、白色申告になってしまったり。。
- 個人確認について、都度原本やナンバーを開示しない方法を。
- 特に無いです。税理士に全て任せました。
- 役所手続の一本化
- スケジュールリストなどがあると助かる
- 今後も起業予定
- 設立の際の届出書類が多数あるので、行政で連携しデータ共有して書類を減らして欲しい
- どこへ行って何を手続きするのは同じなので手続きのフロー図とチェック項目表などがまとまっている支援サイトが中小企業庁などの機関にあっても良いのではないかと思いました。（あるのかもしれませんが私は分からなかったため情報収集して自分で表にしました。）
- 提出書類の多さが大変だった。
- 設立、定款認証と費用が高額。
- 煩わしい
- 何回も書類の作り直しさせられた。
- 専門家をお願いしましたが、金額とその内容について専門用語が多くわかりにくいし、比較検討しにくい。また各申請手続きのスケジュールがつかめず効率的にできなかったのが、窓口で新設に説明いただけるとありがたいです。
- できることならば、一箇所ですべての申請手続きができる機関があればより良い。
- また、起業に関する知識がない人に向けてのサポートも同機関で相談窓口を設けられていると、起業へのハードルが下がるとともに、教育もでき、起業後の失敗も抑える事ができる。
- 合わせて、経営相談窓口も設けて、継続的なフォローと起業マッチングなどさらに収益向上のアドバイスをする事により、マーケットの拡大を促せるかもしれない。
- このアンケートへの不満。なぜ設立準備中の選択肢がないのか？ 設立準備中は用がないですか？ 回答対象外ですか？
- アンケートに出てくるような手続きの一元化
- 色々なところに行かなくてはならず、またどこに行けばよいのかも分からず不便
- 設立自体は楽にできました
- いま事業を続けるかどうか、資金繰りと顧客理解のバランスを見て判断しようとする地点です。続けられて、且つ、固定客が倍増するようであれば登記に進むことも考えています。
- 行政書士なので、業務で会社設立をしています。
- 出来るだけ簡単にできるといいと思います。
- 出来るだけ簡単に出来るといいと思います。
- 専門家に任せましたが、提出書類が多すぎる。
- 自分でできることは自分でできるためのノウハウをもっと欲しい。貸金台帳、就業規則のテンプレートや記入方法など
- 面倒なので、手続きしていない
- 登録免許税の軽減・ネットによる各官公庁への一括提出にしてほしい・電子申請の認証に必要な費用が高すぎるので軽減してほしい（特に社会保障系）・定款の作成も認証も選択方式で対応可能ではないか（注意点のみの説明で良い）・登記事項証明や印鑑証明はネットで確認可能な仕組みとして欲しい
- 1年目に倒産しないような会社設立の仕方をコーチングしてほしい
- 窓口一括手続
- 個人事業主なのでわかりません
- 書類を集めるのに時間かった

- 設立にあたってやらなければならない手続き一覧とその方法をまとめたマニュアルが欲しい。専属のコンサルサービスを受けられる安価なサービスが欲しい。創業後も一年位または創業後のステージに合ったアドバイスを受けられる合理的な価格のサービスが欲しい。
- 会社設立後に法的なことを知ったことが多く、設立時(前)は本当に無知だったなと思います。役所の手続きの簡略化より、小規模スタートアップの際の法的な知識面のサポートの方が重要と感じます。
- 株式会社であっても、小規模の会社設立はもっと簡易にしてほしい。
- 手続きが繁雑であること、窓口の一本化になると良いと思う。
- 初めての人が聞いても理解できる言葉で手順を説明してほしい。定款作成のために公証役場にいかなければならない理由も理解できない。行政書士の指示に従っただけ。定款作成に役所言葉が必要な理由も理解できない。
- 受付先を一箇所に絞ってほしい。
- 手続きの一本化
- 丁寧な助言
- 設立に対するメリットデメリット指南
- ⑦~⑫までの手続きのタイミングが分からない。⑨~⑫は、企業規模に関わらず必須か？ 雇用できる体制・経営状況になってからで良とするか？
- 費用がかかり過ぎ
- セルフで設立手続きが出来る様に無償でテンプレートと解説ビデオを設けて欲しい。
- 定款認証は必要なのでしょうか？書類が完成しておれば設立登記で完了でよいと思います。
- 日数がかかる
- 上記の質問にもあるけれど、手続き申請する所が多過ぎる。しかも横の連携も無い。フローチャートが無ければ初めて会社設立する人が分かる訳無い。どれも親方日の丸なら一箇所で全て受付けるべき。行政でデータベース化すれば簡単な事だと思う。これは行政の怠慢。
- どこに何を持って行って提出しなければいけないのかがわかりにくい
- 準備さえしっかりしておけば、手続きはスムーズにできる事が判った。
- 約款や印鑑証明そして登記事項証明書などは、省庁同士で確認しあえるシステムにして欲しい。
- 各、役所への申請や提出資料(印鑑登録・口座開設を除く)等はWebで可能にしてほしい。
- 役所における手続きの煩雑さ(異なる複数の窓口で対応が必要なこと)
- 役所の側で、一ヶ所で手続きが済む工夫が欲しい。
- 用語がわかりにくい、あるいは理解が難しいことがままある。
- できるだけ窓口を一本化(ワンストップ)して欲しい。
- 手続き出来る場所をもう少し集約して、手続きの簡素化を考えてほしい。
- 事務手続きが大変だと思った
- 手続きが煩雑。一元化できないか。
- 各種手続きの場所が違うため、できる限り1箇所に纏めて欲しい。
- まだ起業したわけではないのでわかりません。
- なし
- 専門家に依頼したので不都合はなかった
- 適度なデータ共有を窓口間でできるようになってほしい。
- ワンストップで手続きできると良い。法務局はもう少し残業しろ。
- 創業手帳があるとないとでは全然違うしとても助かっています。創業時の県とか市単位の補助金、助成金をもっと増えてくれると有難いです。
- 超零細個人には資金調達する程信用が無いので何もかもが八方塞り
- 設立後に提出する先の一本化を望む。同内容の書面提出場所が多い。
- 登記を今年4月1日にしたかったが、土曜日で登記所が閉庁のため、できなかった。休日でも受付して欲しかった。
- 個人事務所なので、特別な

●設立時にやるべきことが多いので一覧表でチェックしていくこと、専門家にアドバイスをうけることが大事と感じた。

●全体のプロセス・ルール特に労務・社会保険関連がわかりにくい、社労士を頼むのも税理士を頼むにも金額がかかるので、安易に郵送されてくるような事務所に依頼ができず知り合いや交流会で知り合った方に相談した士業にお願いしたため、負担は軽かったが、書類、紙類の多さは感じた。捺印も含め、ペーパーレス化を検討してほしい。

●市町村ごとに、創業時に必要なことをまとめたサイト等があればよい。設立前に総務の仕事をしていたので手続等はスムーズにできたが、経験者でない場合は何が不足しているのか、確認することも大変だと思う。

●本業の傍ら、兼業という形で起業する場合の手続きなど情報が欲しい。後々手続きが必要だったり、法的にしなくてはならないことが知らないままでは二度手間になったり、場合によっては手続き費用がかかることがあるので、一つのサイトでわかる情報が欲しい。ワークフロー形式の図式があると、手続きの予定も立てやすいですし、時間と費用のコストも見える形にしていただけるとわかりやすいです。

●設立は株式会社では無い。

●行政書士が改正点を把握していないのか二重手間になったことや、ネットで調べてけっこうメジャーなサイトで調べたが間違っていた？

●株式会社の設立はしていない

●全て税理士と公認会計士に任せた

●全てオンラインで手続きしたが、極めて難解&煩雑。窓口で紙の書類を提出するほうがはるかに簡単。どうせ電子化するならワンストップで完了したい。

●わかりません。

●届出書類がたくさんありますが、対応してくれた人は、皆さん親切でした。

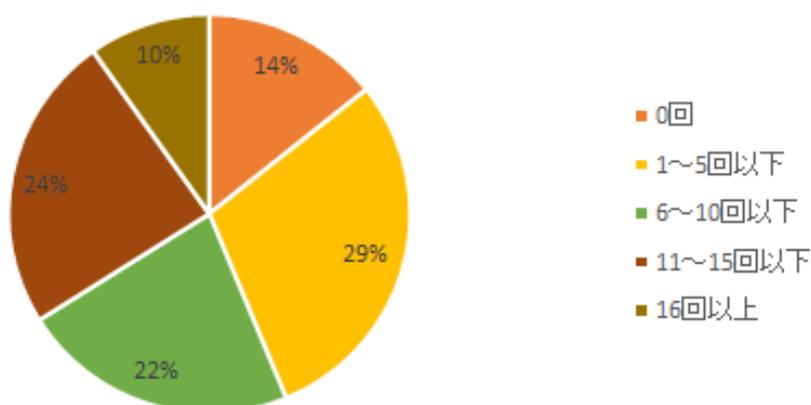
●上記の通り、起業業種に関連する法律条例の監督官庁に専門の相談窓口を設置してほしい

●解らないことが多すぎたが、窓口は親切であった。

●すべき手続きが分からないので、もっと簡潔にほしい

●法人設立届出書を税務署長、県税事務所長、市町村長と3箇所提出しているので、上手く連携して1箇所済むようにならないでしょうか？

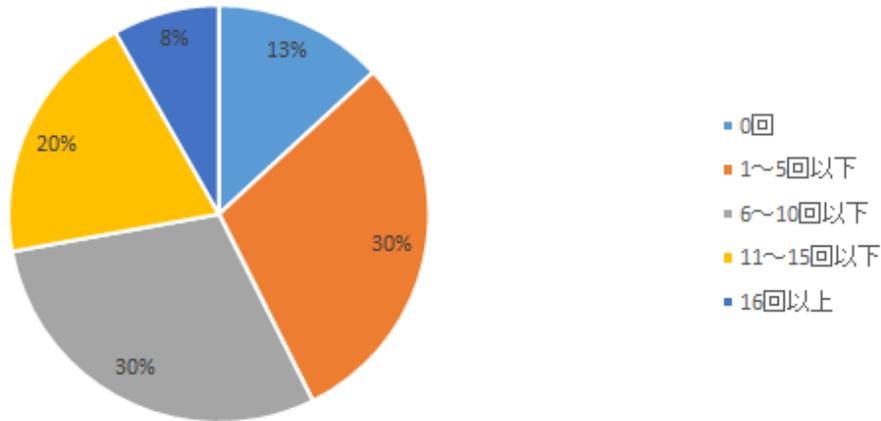
①~⑫ステップの窓口に行った回数



1人あたりが①~⑫の株式会社の設立手続きにおいて窓口に行った平均回数：**7.65回**

※3回以上窓口に行ったと回答した方の集計を「3」でカウントしている為実際は更に多い

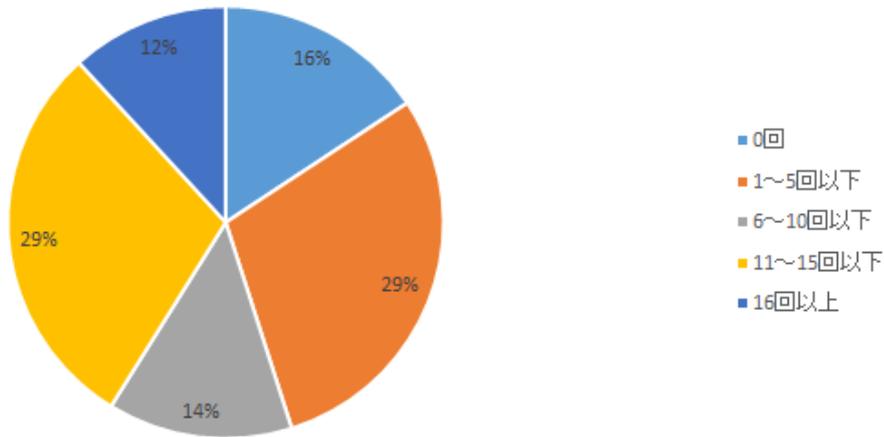
専門家に依頼したと回答した方が①～⑫ステップで窓口に行った回数



専門家に依頼したと回答した方が①～⑫の株式会社の設立手続きにおいて窓口に行った平均回数：6.9回

※3回以上窓口に行ったと回答した方の集計を「3」でカウントしている為実際は更に多い

専門家に依頼しなかったと回答した方が①～⑫ステップで窓口に行った回数



専門家に依頼しなかったと回答した方が①～⑫の株式会社の設立手続きにおいて窓口に行った平均回数：8.39回

※3回以上窓口に行ったと回答した方の集計を「3」でカウントしている為実際は更に多い